

平成 29 年度静岡県危機対応（防災）訓練計画

静岡県危機管理部危機対策課

1 危機対応訓練の目的

危機事案の発生時に、県、市町の災害対策本部における迅速・的確な応急対策と住民等による自助、共助を通じた自らの生命、財産を守る活動が出来るよう努めるとともに、各種防災計画の見直し、防災関係機関の相互連携、県民の防災に関する意識高揚と知識向上を図る。

2 危機対応訓練の対象

大規模地震(南海トラフ巨大地震等)、風水害、感染症、火山噴火、国民保護(テロ、弾道ミサイル等)、原子力災害

3 危機対応訓練の区分

(1) 大規模地震(南海トラフ巨大地震等)に関する訓練

本部運営訓練、実働訓練を年間を通じて計画的に実施する。なお、県と関係機関、県民等による総合的な訓練の場として、総合防災訓練、地域防災訓練、大規模図上訓練を設定している。

(2) 風水害、感染症、火山噴火、国民保護(テロ、弾道ミサイル等)、原子力災害に関する訓練

個別の危機事案(災害)ごとに、関係法令、対処計画、マニュアル等に定められている内容に沿った訓練を実施する。

4 危機対応訓練実施にあたっての基本

(1) 実践的な訓練の実施

(2) 効果的な訓練方法の選定

(3) 防災関係機関が参加、連携する訓練の推進

(4) 男女共同参画及び要配慮者の視点に立った防災訓練の実施

(5) 訓練終了後における「ふりかえり」の確実な実施

平成 29 年度危機対応（防災）訓練計画

	時 期	名 称	種別	内 容
大規模地震に係る訓練	4月27日(木)	全職員参集訓練	図上	大規模地震を想定し、新年度体制下における勤務時間外の初動体制の確保を確認
	8月31日(木)	総合防災(本部運営)訓練	図上	大規模地震を想定し、県・市町における災害対策本部の運営体制、国との連携体制を確認
	9月3日(日)	静岡県・南駿地域総合防災訓練	実動	大規模地震を想定し、地域防災体制と関係機関・自主防災会等との連携を確認
	8月30日～9月5日	総合防災(実動)訓練	実動	防災週間(8月30日～9月5日)中に、県内全域で大規模地震を想定した実動訓練を実施
	12月3日(日) 「地域防災の日」	地域防災訓練	実動	大規模地震等を想定し、地域の自主防・消防団・事業所等の連携体制を確認するとともに、孤立地域住民によるヘリ誘導手順を確認
	平成30年1月17日(水)	地震対策オペレーション2018	図上	大規模地震を想定した防災訓練の集大成として、県・市町における災害対策本部の運営体制、国の現地本部受入れ手順を確認
	3月11日(日)	津波避難訓練	実動	津波対策推進旬間(3月6日～15日)の中で、大規模地震による津波を想定し、住民等の避難方法、避難場所の適否等を確認
その他の訓練	5月14日(日)	狩野川連合水防演習・広域連携防災訓練	実動	狩野川において堤防決壊(越水)による大規模な浸水被害の発生を想定し、国、県、流域市町防災機関の連携を確認
	6月4日(日) (全国統一日)	土砂災害・全国防災訓練	実動	土砂災害警戒区域を有する市町において住民の実動避難体制を確認
	6月27日(火)	風水害対処訓練	図上	台風等風水害を想定し、県、市町災害対策本部における情報伝達、避難勧告手順等を確認
	7月12日(水)	富士山火山防災情報伝達訓練	実動	富士山火山での噴火情報発令を想定し、登山者等の円滑な避難誘導を図るための県・関係市町・山小屋等の情報伝達体制を確認
	10月下旬	新型インフルエンザ等対策訓練	図上 実動	政府新型インフルエンザ等対策本部との連携について確認、擬似患者搬送訓練を実施
	11月中旬	鳥インフルエンザ本部設置訓練	図上	鳥インフルエンザ対策指針及び動員取扱に基づく防疫対策本部設置・動員の検証
	2月8日(木)	国民保護共同実動訓練	実動	ラグビーWC、オリンピック開催に備えて、テロ事案が発生した場合の救出救助等、県・市・実動機関の初動対処、連携についてエコパスタジアムで確認
2月下旬	原子力防災訓練(住民避難訓練等)	図上 実動	浜岡原発における事故を想定し、避難退域時検査場所の設置・運営及び在宅の要配慮者の屋内退避措置等を確認	

※ 上記以外の訓練についても、各部局・所属において計画し、実施する。